HOOKMK21
HB000006130923



# 京築 地力発揮しまた栄冠

## 第31回 秋季大会兼九州大会福岡県北支部予選

（10月3、10、11日・光陵グリーンスタジアムほか）

第31回日本少年野球秋季大会兼九州大会福岡県北支部予選（中学生の部）が、10月3日から開催され、九州大会出場の4枚の切符を争い21チームが対戦した。前回のアジア振興大会で、涙を飲みリベンジに賭けるチームから、虎視眈々と2大会連続優勝を狙うチームまで、新チームでの2大会目に臨むチームの思いはさまざまであった。

決勝へは、ふくやスポーツ感謝祭で優勝した京築が今大会でも決勝へ駒を進めたものの、準決勝のヒットで1点追加し、ここまで好投する北谷・崎濱投手からこの回一挙に3点を奪った。

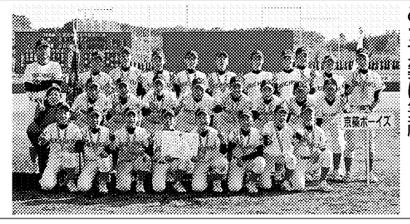
また6回表にも1点追加すると、6回裏にうるま東が投手を吉田君から三木君へ交代。三木君はこの回を無失点で切り抜けると、最終回も打者三人で抑え、5―0でうるま東ボーイズが優勝。九州大会の切符を手にした。

◇中学生の部【決勝】
京築ボーイズ　011 102 027
福岡芦屋ボーイズ　000 101 002
【京】田畑、武内―山本
【福】友岡、古田―入江

◇中学生の部【決勝】
うるま東ボーイズ　100 031 005
北谷ボーイズ　000 000 000
【う】吉田、三木、新垣【北】崎濱、仲村渠―佐久真
二知安2（う）二新垣（う）

◇中学生の部【1回戦】
那覇　8―3　うるま
【2回戦】
那覇　5―2　浦添
浦添中央　9―1　豊見城
うるま東　3―1　南風原
【準決勝】
浦添中央ボーイズ　000 001 321 3X　6
うるま東ボーイズ（5回コールド）　000 120 040 100　3
【浦】国吉―宮里
【う】玉栄、三木―新垣
二三木2、平川（う）二砂川（浦）
那覇ボーイズ
北谷ボーイズ
【那】松田原、仲宗根―末吉
【北】渡口―佐久間
二須川、末吉、安室（那）東（北）

▲▲優勝メダルをかけてもらい笑顔のうるま東


優勝で九州大会出場を決めた京築は笑顔

勝ちが危ぶまれる場面もあったが、持ち味でもある打撃で底力を見せ、決勝戦の切符を手にした。対する福岡芦屋は、ここ最近の試合でも良い結果を残しており、新チームでは更に力を上げてきており、2回戦で前年度優勝の北九州中央を破ると、実力では定評のある八幡南と苅田を下し、念願のチーム発足後、初優勝の栄冠を狙うべく決勝まで駒を進めてきた。

結果は、京築が経験と力の差を見せつけ今大会も優勝の栄冠を手にした。惜しくも準優勝となった福岡県北支部の主管で、県営筑豊緑地球場ほかで開催される九州ブロック主催の第31回日本少年野球九州大会へ出場する4チームが、10月31日から福岡芦屋の選手であったが、とても晴れやかな表情であり、今後の活躍が期待される。尚、今大会で準決勝へ勝ち進んだ

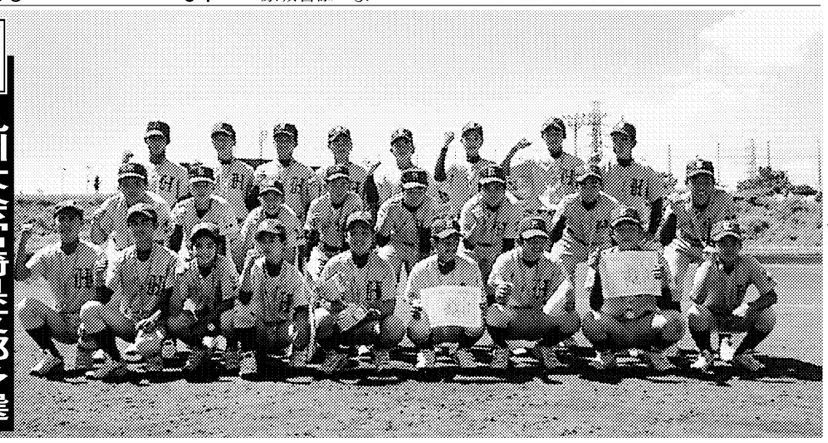
◀秋の沖縄県NO1に輝きガッツポーズのうるま東

## 第15回 秋季沖縄大会

（9月6、12、13日・具志川球場ほか）

◇中学生の部【決勝】
宮崎　4―3　延岡
【準決勝】
県央宮崎ボーイズ　002 011 000　4
日豊ボーイズ　002 000 000　0
【日】松山―鶴輪
二開地（県）谷口（日）
宮崎西部ボーイズ　010 210 101　4
宮崎ボーイズ（6回時間切れ）　001 004 000　1
【西】富永、川畑―谷口
【宮】渡辺大―戸内、渡辺真、渡辺大（宮）
二福重（西）渡辺真、渡辺大（宮）

◇中学生の部【1回戦】
八幡ひびき　8―3　飯塚
八幡南　7―5　上津役
小倉北　3―0　西田川
九州中央　8―1　八幡東
【2回戦】
八幡南　5―2　小倉北
八幡ひびき　4―3　九州中央
【準々決勝】
八幡南　3―2　八幡ひびき
京築　9―1　八幡西
【準決勝】
京築ボーイズ　000 000 011　1
八幡南ボーイズ　000 000 100　1
【京】繁武内、山本―山本、田畑
【八】小山、権田、森山、東、伊賀
二寺坂、繁（京）青木、伊賀、栗原（宗）
【決勝】
京築ボーイズ　000 000 001　1
福岡芦屋ボーイズ　000 000 002　2
【京】繁武内、山本―山本、田畑
【福】堀川、山下―入江
二古田（福）二山下、古田、堀川、谷崎（福）岡田、近藤（苅）
【3位決定戦】
苅田　4―2　小倉
【準決勝】
苅田ボーイズ　000 000 031　4
京築ボーイズ　214 301 000　11
宗像ボーイズ　000 000 200　2
【京】繁武内、山本―山本、田畑
【宗】小山、権田、森山、東、伊賀
【苅】秋山、石原、山本、本田―田中
二古田（福）二山下、古田、堀川、谷崎（福）岡田、近藤（苅）
【3位決定戦】
宗像　7―1　苅田


第31回 九州大会宮崎県支部予選
（9月27、10月3日・門川海浜公園野球場ほか）

◇中学生の部【1回戦】
県央宮崎ボーイズ　112 300 007
宮崎ボーイズ（5回コールド）　000 000 0
【県】一村―松尾
【宮】工藤、梶原、渡辺大―戸内
日豊　7―5　小林
宮崎西部　3―2　宮崎中央
県央宮崎　5―1　宮崎くしま

## 第31回 九州大会中九州支部予選

（9月19、26日・山鹿市民球場ほか）

◇中学生の部【決勝】
北熊本ボーイズ　100 001 003　5
熊本泗水ボーイズ　000 000 000　0
【北】宮本―星子
【泗】工藤―徳永
二益す永（北）牧野（泗）二星子
【準決勝】
北熊本ボーイズ　400 021 0　7
北熊本ボーイズ　001 001 1　3
【北】岡本、岡田―星子
熊本田原坂・上益城合同ボーイズ
熊本中央　7⑥0
【田】霍田―田中、伊藤
二星子、益永（北）二大串（北）
霍田（田）
熊本泗水ボーイズ　220 030 0　7
熊本中央ボーイズ　020 030 1　6
【泗】上田、徳永
【中】田中、桑原―坂本
二上田（泗）坂本、牛島、野田（中）
◇中学生の部【1回戦】
北熊本　10―4　熊本宇城・熊本西部合同
熊本中央　7⑥0　熊本菊池北

## 第31回 九州大会中九州支部大分ブロック予選

（10月3、4、11日・野津原球場ほか）

◇中学生の部【決勝】
大分七瀬ボーイズ　015 130 0　10
大分明野ボーイズ　000 325 1X　11
【七】山本、森田、浜崎―藤井
【明】吉良、小橋、又吉、宗―赤峯
二藤井（七）相沢（明）二福田（七）
◇中学生の部【1回戦】
大分七瀬　4―1　大分東・南合同
日田・玖珠・佐伯合同　7⑥0　日出
湯布院　2―0　宇佐
大分明野　5―3　別府
【準決勝】
日田・玖珠・佐伯合同ボーイズ　000 020 0　2
宮崎ボーイズ　200 100 X　3
【日】朝倉、矢羽田―丸山
【七】江上―藤井
二平山（日）二江上（七）
大分七瀬ボーイズ　261 20　11
大分明野ボーイズ　200 01　3
湯布院ボーイズ（5回コールド）　000 00　0
【明】道頭―赤峯
【湯】安部、高橋―小室
二長尾（明）川瀬、小室、高橋（湯）
【3位決定戦】
大分七瀬　7―3　熊本泗水

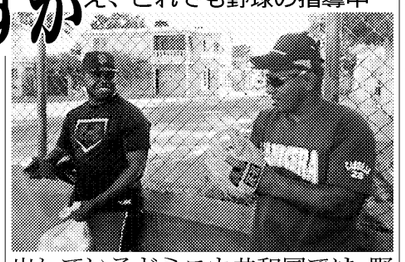
# うるま東頂点で 九州大会切符

決勝戦が去る9月13日に行われ、うるま東ボーイズと北谷ボーイズの対戦となった。1回表、うるま東の攻撃は1死一、二塁から4番・新垣君の適時打で1点先制し、続く5番・三木君は四球を選んで一死満塁。チャンスは続くが6番三振、7番川端君の打球が一塁走者に当たり追加点の好機を逃した。その裏、北谷の攻撃は四球で走者を出すも得点にはつながらず、2回以降は互いに得点できず、我慢の時間が続いた。

均衡を破ったのは5回表。うるま東が2死から1番・知念君が三塁打で出塁し、2番・吉里君の安打で1点追加、なおも3番・水谷君がヒットで続き、初回に適時打を打っている4番・新垣君が左前適時打で1点追加。さらに続く5番・三木君

# あなたは何年〝待つ〟ことができますか

お気楽に談笑中？　いえいえ、これでも野球の指導中



今、野球の指導者であるあなたの目の前に才能豊かな12歳（中学1年生入学直後）の選手がいます。あなたは彼が活躍できるようになるまでどれくらいの期間待てますか？　上級生に力のある選手が少ないので、すぐにでも活躍してほしいと思いますか？　半年後の新チームスタート時でしょうか、1年半後の最高学年になる頃でしょうか？　それとも2年半後の最後の全国大会に間に合ってくれればいいと、そこまで待つことができますか？

前号でもご紹介した通り、カリブ海に浮かぶ小国・ドミニカ共和国は日本の人口10分の1でありながら、日本の10倍以上のメジャーリーガーを毎年輩出しています。彼らの活躍を日本では身体能力の違い、ハングリー精神の違いと表現されるケースが多くありますが、実は彼らの選手育成方法は、我々日本人にもできる至ってシンプルな指導法なのです。そのうちの一つに〝待つ〟ということがあげられると思います。

もし、同じ質問をドミニカ共和国の指導者に尋ねたとすると、多くの優秀な指導者は「そうだね～、彼が30歳になる18年後くらいから活躍しはじめてくれればうれしいな」と答えるでしょう。それくらい、我々日本人とドミニカ共和国人の〝待つ〟という言葉の意味は違うのだと思います。

現地の指導法を見ていると、とにかく選手が自身でうまくなっていける環境を指導者が用意していることに気づきます。「このように腕を使って打ちなさい」「ボールを捕るときはグラブをこう使いなさい」と、指導者が指導している現場はほぼお目にかかることなく、指導者は来る日も来る日も黙々と打撃投手をし、ゴロを転がし、彼ら自身が気づいて成長していく瞬間を待ち続けます。たとえ、改善方法がわかっていても、むやみにそれを教えてしまわないのです。

これまで多くのメジャーリーガーを輩出してきたＬＡドジャース・アカデミーのコーチも「選手たちが能力をグンと伸ばす時期は個人差があり、何百人何千人という選手を見てきた我々にもそれがいつなのかはわからない。15歳あたりから力を伸ばす子もいれば、20歳を超えてから伸びてくる子もいる。早ければ良い、遅ければ悪いということではないんだ。でも、指導者として大切なことは絶対に選手に答えを教えないこと。彼らが気づけないからと言って、このように捕りなさい、このように打ちなさい、こうやって投げなさいと言ってしまえば、その時はできるようになるけど、彼らの成長はそこで止まってしまうんだ。だから、指導者はとにかく彼らが気づくまで待ち続ける、答えを教えずにサポートし続ける忍耐力がとても大切なんだよ」と話し、27年間もそれを実践されています。

毎年多くのメジャーリーガーを輩出しているドミニカ共和国では、野球を始めたばかりの小さな子供も、12歳の選手も、みんなが望むもの、それは唯一メジャーリーガーとして活躍をする、長い年月にわたって活躍し続けることです。ですので、野球を始めた10歳の子どもは20年後から活躍できればいい、15歳の選手でもまだまだ15年後から活躍できれば良いと考えます。そんな彼らの夢に少しでも近づけるよう、指導者は選手らが10年後、20年後から活躍できるようサポートしていきます。むしろ、数年のうちにピークが来てしまってはみんなが困るのです。

カリブの島国ではただただ選手たちの将来の活躍を願い、選手たちが自分たちでうまくなっていける環境を準備するとともに、短期的結果にこだわらず成功も失敗も含めて温かく見守れる指導者が優秀な指導者として認められています。

目先や数年後の結果しか見ることができず待てない指導者は子どもたちの可能性を狭めてしまう指導者。選手自身で気づいて成長できるまで何年でも待つことのできる指導者は子どもたちの可能性を広げられる指導者。これは万国共通なのではないかと私は思います。

さあ、今年も12歳の中学1年生が入部してきました。あなたは彼が活躍するまで何年待てますか？

# いつも「父親のような審判」でありたい

私がボーイズリーグの審判員となって早いもので丸10年が過ぎました。常々思っていることは、子供の邪魔にならないところで見守り、必要とされた時に適正なアドバイスや指導が出来る父親のような審判でありたい。私は、三人の子供を持つ父親でもありますが、グランドでは、子供（選手）の父親としての信頼と責任を果たせるようにしたいと考えます。

そのために試合に臨んだ時に心がけていることは、「見えるのか」「観ていたのか」「診たのか」の三つの「みる」です。一つ目の「見る」は、しっかりと見える位置にいるのか。二つ目の「観る」は、状況がしっかり確認できたのか。三つ目の「診る」は、診た判断は正しかったのか。この三つの「みる」を常に問いかけながら、良き父親になれるように今後も努力し、微力ながら選手の育成に貢献していきたいと思っています。

【愛知県西支部審判長・重田　尚彦】